

Google Colab の マウントと Google ドライブ移動(%cd) 入門

プログラミング初心者向けのやさしい解説

最初にひとことで言うと、
「マウント」は Colab から Google ドライブを見えるようにする作業、「%cd」はその見えるようになった場所の中で、作業したいフォルダへ移動する命令です。

1. まずは全体像をつかもう

Google Colab は、インターネット上で Python を実行できるノートブック環境です。

ただし、Colab の中だけで作業していると、保存したファイルは一時的な場所に置かれることがあります。そこで、よく使うのが Google ドライブとの連携です。

その連携には、次の 2 段階があります。

段階	やること	たとえ
1. マウント	Google ドライブを Colab から使えるようにする	家の鍵を開けて、家の中に入れるようにする
2. %cd で移動	家の中の「作業部屋」まで歩いて行く	居間ではなく、机のある部屋へ移動する

2. マウントとは何か

「マウント」は、Google ドライブを Colab に接続することです。これをしないと、Colab から自分の Google ドライブ内のファイルやフォルダが見えません。

よく使うコードは次のようなものです。

```
from google.colab import drive
drive.mount('/content/drive')
```

このコードを実行すると、認証のための画面が出ることがあります。許可すると、Google ドライブが /content/drive という場所から見えるようになります。

ここで大事なのは、「Google ドライブそのものが Colab の中にコピーされるわけではない」という点です。Colab から、Google ドライブの中を参照できるようになる、と考えると分かりやすいです。

3. %cd とは何か

次に使うのが %cd です。これは「カレントディレクトリ(今いる作業場所)」を変更する命令です。

たとえば、Google ドライブの中に MyDrive/Colab Notebooks/work という作業フォルダがあるなら、次のように移動できます。

```
%cd /content/drive/MyDrive/Colab Notebooks/work
```

この 1 行を実行したあとにファイル一覧を出したり、CSV や画像を読み込んだり、保存したりすると、そのフォルダを基準に作業しやすくなります。

4. 実際の流れを順番で見る

1. Colab を開く。
2. Google ドライブをマウントする。
3. Google ドライブの中の作業用フォルダへ %cd で移動する。
4. そのフォルダにあるデータを読み込む、または結果を保存する。

初心者の方は、次の 4 行をひとかたまりで覚えると便利です。

```
from google.colab import drive
drive.mount('/content/drive')
%cd /content/drive/MyDrive/Colab Notebooks/work
!ls
```

最後の !ls は、「今いるフォルダの中身を見せて」という命令です。ちゃんと移動できたか確認するときに役立ちます。

5. よくあるつまずき

困りごと	原因	考え方・対処
フォルダが見つからない	パスの書き方が違う	まず !ls /content/drive/MyDrive で中身を確認する
%cd してもエラーになる	マウント前に移動しようとしている	先に drive.mount(...) を実行する
保存したはずのファイルが見つからない	今いる作業場所を勘違いしている	pwd や !ls で現在地を確認する
日本語や空白を含むフォルダ名で迷う	パスが長くて打ち間違いやすい	Google ドライブ側でフォルダ名を短く整理すると楽

6. これだけ覚えれば十分

マウント = **Google** ドライブを **Colab** から見えるようにする

%cd = 見えるようになった場所の中で、今作業するフォルダへ移動する

この 2 つの役割を分けて理解できると、Colab でのファイル操作がかなり分かりやすくなります。

最初は「接続する」と「移動する」を混同しがちですが、別の作業です。ここが分かれば、CSV の読み込み、画像保存、学習済みモデルの保存などもスムーズになります。

作成日: 2026-03-24